

番 号	4 6	区 分	町指定文化財
種 別	天然記念物	所 有 者	八剣神社
名 称	八剣神社の大杉		
指定年月日	昭和59年2月1日		
所 在 地	南木曾町読書（戸場）		

概 要

昭和30年頃までは、4本の木が合体していたものと思われる。昭和32年1本が枯れたので切った（年輪はこの時508年）後、室戸台風で1本が倒れ、現在2本が残っている珍しい木である。樹相は高さ38m、目通り周囲11.8m、樹齢530年位である。（平成20年10月再計測 11m92cm）

・神社についての考察

八剣神社は旧号を剣大明神といい、江戸時代には2か村（柿其村と三留野村戸場）にまたがる神社である。対岸の中川原にも八剣神社があり、この神社の棟札には「向渡場剣大明神同体也」と記されているところから、もとは一つの神だったといわれている。戸場は渡場あるいは土場とも書かれるが、これは木材の集散地という意味で、戸場と中川原の一带は川狩りの際、木曾川に接する重用地点で、その両側に神社が祀られたのではないかと考えられる。

